

健康診査、あと1か月あまり

「うっかり忘れていませんかい」

市が、病院や医院にお願いして実施している胃がん検診や基本健康診査は、期間が9月30日(火)までと、残すところ1か月余りとなりました。

すでに申し込んで、受診票を持っておられる方は、市内の病院または医院へ予約し、早めに受診しましょう。

これから申し込まれる方または保健センターや公民館で受けられなかった方は、保健センターへご連絡ください。

胃がん検診：造影剤（バリウム）を飲んでレントゲン直接撮影を行います。

基本健康診査：血圧測定、尿検査、心電図検査、血液検査（肝臓・腎臓・コレステロール・中性脂肪・貧血・血糖）、眼底検査（必要な方のみ）を実施します。

胃がん検診Ⅱ2、000円
基本健康診査Ⅱ 900円

70歳以上の方は無料
※対象年齢は40歳以上です。

「結果を生かそう」

健康診査は、からだの総点検をしてそれで終わりではありません。その結果を、明日からの生活の健康指針として生かしてこそ意義があるのです。

生活習慣病にならないためには、食生活、運動、ストレス、飲酒、たばこなど、毎日の生活習慣をいかにうまくコントロールしていくかにかかっています。

また、健診時に医師、栄養士、保健婦に相談したりアドバイスをうけ、健診の結果に応じたあなたの生活改善プログラムをつくりましょう。

また、健診時に医師、栄養士、保健婦に相談したりアドバイスをうけ、健診の結果に応じたあなたの生活改善プログラムをつくりましょう。



※申込先

保健センター

☎ 1132・1133

ながと文化財めぐり

▷17◁

俵山温泉の象徴

こんどうやくしによらいりゅうぞう 金銅薬師如来立像



有形文化財（彫刻）
昭和60・10・29（県指定）

俵山湯町。温泉街の中心に薬師堂がある。その本尊がこの美しい金銅薬師如来立像である。

像高四三・一センチ。左手に薬師の象徴である薬壺を持つ。もともとこの仏像には金色の鍍金が施されていたが、いまは落ちて重厚な黒色の輝きをみせている。像の背面に刻まれた文字から、この仏像が製造されたのは、鎌倉時代末期の延慶四年（一二三二）であることが分かる。

昭和十九年、この仏像は文部省から重要美術品の認定を受けた。嘉永四年（一八五二）湯町に大火があった。この仏像はその後、仙崎の極楽寺からゆずり受けた。白猿と薬師は俵山温泉の象徴。

表紙の説明

身近な環境をきれいにする運動の一環として、空き缶などを拾って歩く「クリーンウォークinながと」が8月2日(土)、市内各所で行われました。

市と市環境衛生推進協議会、市観光協会の主催で毎年実施されており、この日は子どもからお年寄りまで約1、500人が参加、約20のコースに分かれ、道路わきや空き地に落ちている空き缶や紙くずなどを、燃えなごみと燃えるごみに分別しながら拾って歩きました。

集められたごみの量は、2トン車で10台分にもほり、参加者は「日頃、目に付かない草むらなどに捨ててあるごみの量に驚きました」と話していました。

今月の納税

市県民税第2期

納付期限 9月1日

市の人口（8月1日現在）

面積 152.38km²

人口 25,141人（2）

男 11,674人（△5）

女 13,467人（7）

世帯数 8,943世帯（7）

（ ）内は前月比